

岡山県総合文化センターニュース

道しるべ

津山 因幡道の道しるべ



津山市の高野交差点を西に1.2km、南へ300m、古川と蟹子川の間交差点に、道しるべが建っている。

「西 是より左 のかも道」「南 是より右因幡道」
「東 元禄二 年三月日」と刻まれている。

因幡道とは、津山から黒尾峠を越えて智頭に至る道筋を指す。因幡道は、津山城下町の中心から玉琳の分岐点までは、出雲往来と重なっている。

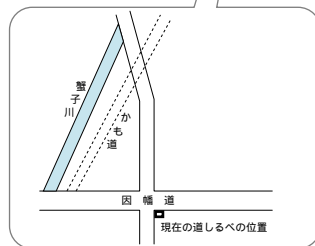
かも道とは、押入と高野本郷の境あたりで蟹子川沿いから北東に続く道である。現在は、道が部分的にしか存在しない。

この道しるべは、因幡道とかも道との分岐点にあったと考えられ、現在よりも西に位置していた可能性もある。

は解読不能文字

【参考文献】

「因幡往来 因幡道 倉吉往来」（岡山県歴史の道調査報告書第五集）岡山県教育委員会（かも道については、岸本佳一氏のご教示による）



周辺地図拡大図

図書館部門

利用案内

資料を探すとき

利用者端末をご利用ください。書庫の図書・雑誌・新聞は所定の用紙でお申し出ください。

またインターネットで、県内の複数の公立図書館の本を一括検索することができる「岡山県図書館横断検索システム（分散型総合目録検索システム）」の運用を行っています。当文化センターホームページより利用することができます。

本を借りるとき

岡山県内に在住、通勤、通学の方ならどなたでも借りることができます。はじめての方は、住所の確認ができるものが必要です。県内のほかの図書館からでも借りられます。貸出しは、1人8冊で15日までです。

読みたい本がないとき

リクエスト（予約）ができます。ご相談ください。

調べものをしたいとき

職員が資料相談（レファレンス）をお受けします。直接お尋ねください。

電話や手紙・電子メールでもどうぞ。

簡単なものは、参考図書コーナーが便利です。資料を複写したいとき

図書館の資料に限り、著作権法の範囲内で複写できます。

モノクロ15円、カラー50円、マイクロ20円です。

図書館へ来られない方のために

重度の心身障害者などにより図書館に来られない方には郵送貸出しをしています。

近くに図書館がない方のために

地元の教育委員会の施設及び配本所などで借りる方法があります。詳しくは、地元の教育委員会または当館普及課へお問い合わせください。

事業紹介

世界お話の旅（年4回）

おもに小学生とその保護者を対象とし当館所蔵の外国語児童図書や外国人講師の話を通して、各国の言葉や文化にふれる講座です。

4月26日(土) グリム編

7月13日(日) イソップ編

9月21日(日) 世界の童話編（前編）

11月1日(土) 世界の童話編（後編）

いずれも午後2時より。

岡山県子ども読書活動推進フォーラムinつやま(仮称)
平成15年8月23日(土)

グリーンヒルズ津山 リージョンセンター

子どもの読書活動の振興方策を協議するためのシンポジウムやフォーラム等を開催します。

岡山県読書大会・一日こども図書館フェスティバル
平成15年9月27日(土) 寄島町

岡山県読書大会は、表彰式、実践発表、記念講演などが行われます。一日こども図書館フェスティバルは地域の子どもたちに対して読書普及活動を行います。

岡山県子ども読書活動推進キャンペーン

平成15年11月8日(土)~11月9日(日)

コンベックス岡山

子どもの読書や子どもの本に対する関心を高めるために子ども読書推進キャンペーンフェスティバルを開催いたします。

その他に読み聞かせステップアップ講座、新県立図書館ボランティア養成講座などを開催します。

ギャラリー部門

「現代作家の眼」

クロスオーバー10展2003

会 期：平成15年10月22日(水)~11月2日(日)

会 場：岡山県総合文化センター 第一展示室

内 容：中四国各県及び兵庫県に在住で現在活躍中の新進現代美術作家の力作を展示し、新しい表現に挑戦する作家の姿や造形理念を紹介する。

「現代作家の眼」

アートウェーブ岡山・巡回展<笠岡>

会 期：平成15年11月19日(水)~11月30日(日)

会 場：ワコミュージアム

(笠岡市五番町6-20笠岡グランドホテル内)

内 容：県内で、平面作品の制作で活躍中の美術家を選抜し、その秀作を地域へ巡回して展示する。

その他：会期終了後、県内美術展示施設へ巡回予定

ホール部門

文化センター合唱団第38回定期演奏会

日 時：平成15年5月17日(土)

午後6時30分開演

文化センター合唱団第39回定期演奏会

日 時：平成16年2月14日(土)

午後6時30分開演

文化センター土曜劇場

第335回 6月6日(金)~8日(日)

岡山県高等学校演劇協議会公演

第336回 7月26日(土)・27日(日)

劇団SOFT GEAR公演

第337回 8月30日(土)・31日(日)

岡山大学演劇部 公演

第338回 9月6日(土)・7日(日)

劇団ひびき 公演

第339回 9月13日(土)・14日(日)

演劇工舎「ゆめ」 公演

第340回 10月4日(金)~6日(日)

岡山県高等学校演劇協議会 公演

第341回 10月18日(土)・19日(日)

劇団黒い兎団 公演

第342回 11月29日(土)・11月30日(日)

びっくり座ユニークシアター&岡山ろう者劇団『夢二』 公演

第343回 平成16年

2月21日(土)・22日(日)

CARATプロジェクトカンパニー 公演

おokayama人物往来 ⑦③

たき がわ ゆき とき
瀧川 幸辰



瀧川幸辰(京都大学大学文書館所蔵)

法学博士瀧川幸辰は明治24年(1891年)2月24日に岡山市に生まれた。父豊三郎は幸辰が7歳の時に腸チフスで亡くなっている。幸辰の家族は父のたった

一人の弟、すなわち叔父に引取られ、幸辰は叔父の許で成長していく。

明治36年(1903年)、兵庫県立神戸中学校へ入学し、家の都合で大阪府立北野中学校へ転入学した。北野中学校では野球部に入り、捕手をしていた。

明治42年(1909年)7月、第三高等学校一部丙類に入学した。一部丙類のクラスは第一外国語がドイツ語であった。幸辰は中学校3年の時からドイツ語を習っており、英語よりドイツ語のほうがよくわかるようになっていた。しかしナンバースクールの中でドイツ語が受験科目であったのは一高だけであったため、三高の入試では英語で受験している。

幸辰は三高の入試の時に北村保太郎とはじめて出会っている。入試の答案の提出順を北村と競い、入学席次は北村が幸辰の1つ前であったという。この北村の妹が幸辰の妻静子である。

明治45年(1912年)、京都帝国大学法科大学法科へ入学し、大正4年(1915年)に卒業した。その後3年間京都地裁・検事局で修習を受け、大正7年(1918年)京都帝国大学法科大学助教授となった。大正11年(1922年)から主としてドイツ

へ留学し、帰国してすぐに教授に昇格した。

昭和8年(1933年)貴族院議員菊池武夫は幸辰が中央大学法学会で行った「トルストイの『復活』に現はれた刑罰思想」の講演内容を問題にし、「帝大赤化教授」として攻撃した。さらに鳩山一郎文相が幸辰の「刑法読本」を非難して、幸辰の辞職または休職を要求した。小西重直京大総長および法学部教授会は処分拒否を回答したが、文官高等分限委員会が休職を決定した。これに対して法学部全教授が辞表を提出した。結局小西京大総長が辞任し、松井元興が総長となって、幸辰ら7教授、5助教授、2講師、4助手、2副手の辞職となった。

昭和11年(1936年)から刑事専門の弁護士となったが、昭和21年(1946年)、京大教授に復帰し、法学部長をつとめた。昭和25年(1950年)に法学部長をやめるが、その翌年昭和天皇が京都大学を訪問した際に法学部を代表して進講している。この時、学生たちが「天皇制廃止」のプラカードを立てて、「平和の歌」と称するものを合唱する騒動いわゆる「天皇事件」が起きた。幸辰は騒動を起こした学生たちに断固たる処置をとるべきだと考えていた。

昭和28年(1953年)第15代京大総長となった。昭和30年(1955年)幸辰が学内を歩いていた時幸辰に暴行を加えるという「総長暴行事件」が起きたが、昭和32年(1957年)、総長任期満了までつとめた。その後ノートルダム女学院大学教授になり、昭和37年に71歳で死去した。

法学博士瀧川幸辰は、多くの著書を残しており、日本学士院会員でもあった。

【参考文献】

- 「学問と世間」(瀧川幸辰著 有恒社 S22)
- 「随想と回想」(瀧川幸辰著 有斐閣 S22)
- 「瀧川幸辰 文と人」(瀧川幸辰先生記念会 S38)
- 「激流 昭和レジスタンスの断面河出ペーパーボックス23」(瀧川幸辰著 河出書房新社 S38)

うち 当館の参考図書 ①27

『完訳 世界文学にみる架空地名大事典』
 アルベルト・マンゲル/ジャンニ・グアダルービ著
 講談社 2002年12月

この事典には、様々な土地の地理、歴史、風土、特徴などが詳細に記されている。項目によっては旅行する際の注意事項まで載っており、非常に興味深い。

ただし、ここに収録されているのは全て実在しない土地なのだ。

例えば、ポーム著『オズの魔法使い』に出てくるオズの国について知りたければ、この事典で「オズ」の項目をひけばよい。オズの国の地形、歴史、風俗などがわかる仕組みだ。

収録されている地名は新旧を問わず、古いものでは『アラビアン・ナイト』に登場する「猿の山」から、新しくはJ・K・ローリング著『ハリー・ポッターと賢者の石』の「ホグワーツ」までである。

西洋以外の作品が少ないことと、作品名から検索することができないのが難点ではあるが(ただし著者名からは検索できる)、ユニークな事典であり、一読をおすすめする。あなたの行ってみたい場所もきっと見つかるだろう。



新着郷土資料紹介

岡山県展望 2003 オカニチ出版編 岡山日日新聞社発行 2002 1冊

備北・美作地域の寺 岡山文庫219 川端定三郎著 日本文教出版発行 2002 156\$

親子で読む郷内の歴史散歩 田辺進編著、発行 2002 128\$

評伝松村緑 明治の詩人研究に生涯をかけた女性 黒田えみ著 詩の会・裸足発行 2003 117\$

瀬戸内地理 第11巻 地域地理科学会〔編〕、発行 2002 76\$

倉敷からはこう見える 世界と文化と地方について 大原謙一郎著 山陽新聞社発行 2002 246\$

岡山市議会史 戦後編 第2巻 自昭和34年至昭和42年 岡山市議会〔編〕、発行 2002 734\$

和気の医療史 通史編 資料編 仙田実編 中

山沃監修 浦上新一郎発行 2002 2冊

ゲロリンあらの飲んで食べれ場 おかやま編 オールカラーイラストガイドブック 探検絵巻シリーズ1 ゲロリン、山吹あらの著 ソウルノート発行 2002 134\$

岡山企業年報 2003年版 瀬戸内海経済レポート発行 2002 567\$

前田孝造作品集 WORKS OF KOZO MAEDA 1932 - 1998 前田孝造〔作〕 前田康子発行 2002 71\$

週刊日本の街道 39 吉備路と東城街道 講談社発行 2003 34\$

去りゆく笠岡生まれ出づる笠岡 写真集 笠岡路上観察研究会編、発行 2002 1冊

邑久をえがく 町制施行50周年記念邑久町勢要覧 岡山県邑久郡邑久町編、発行 2002 32\$

岡山県における結核の現状 平成13年版 岡山県保健福祉部健康対策課発行 2002 164\$

新着外国語資料紹介

Little Daruma and littleTengu

ファンタジー

(by Satoshi Kako / Tuttle / 2002)

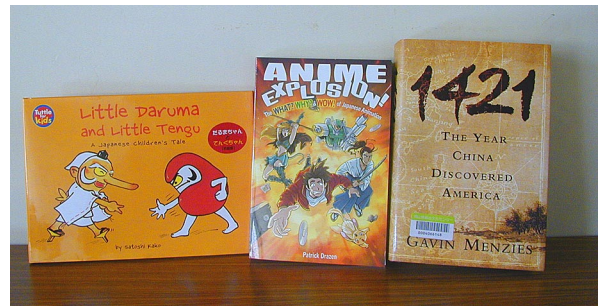
うちわや帽子に下駄、だるまちゃんはてんぐちゃんの素敵な持ち物がうらやましくてたまらない。だるまちゃんの「おはな」がほしいとお父さんをお願いするのだが...1967年に発行されて以来 300万部の売り上げを誇る「だるまちゃん」シリーズ第1巻の英語版である。作者は、日本を代表する絵本作家であり工学博士でもある加古里子(かこさとし)氏。彼の作りだす心あたたまるファンタジーの世界が子供たちに楽しい夢を届けてくれることであろう。

Anime Explosion! : The What? Why? & Wow? of Japanese animation

アニメガイド

(by Patrick Drazen / Stone Bridge Press / 2003)

今やアニメは、劇場・ビデオ・テレビなどあらゆるところで隆盛をきわめている。しかしアニメはどこに由来し、そのことがどういう意味をもつのだろうか。シカゴ大学や南イリノイ大学で日本大衆文化を講義している著者のパトリック・ドレイゼン氏は、日本アニメを昔の日本文化におけるルーツから主なテーマやモチーフまでじっくり分析している。彼はまたマンガのアニメへの影響や宮崎駿監督によるアニメ作品についても吟味している。2003年アカデミー賞長編アニメ賞を同監督作品である「千と千尋の神隠し」が受賞したこ



とも、日本アニメが世界的にも高い評価を受けていることを示しているといえよう。100枚以上のさし絵のはいったすばらしいアニメガイドである。

1421: The year China discovered America

新説

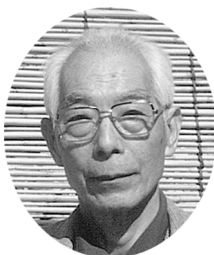
(by Gavin Menzies / William Morrow / 2002)

「アメリカを発見したのは中国人である。」という我々の歴史認識を大きくくつがえす新説をたててギャビン・メンジーがまとめたのが本書である。1421年の5月に中国の明王朝を出発した船団が2年間の航海で地球を一周してきたときには、皇帝は失脚し中国は政治的にも経済的にも混沌とした状態になっていたというのだ。彼の説によれば、コロンブスが生まれる70年も前に中国船がアメリカに到達し、マゼランよりほぼ1世紀前に世界一周を成し遂げ、さらにクック船長より350年も前に南極やオーストラリアまでも発見していたということになるのである。著者は中国や極東を幾度となく訪れ、120ヶ国、900ヶ所もの博物館や図書館、中世後期の海港を訪れた調査をもとに執筆している。

随想

人生の潔さ

作家 難波聖爾



今、私が関心を持っている事といえば、世界や人類の未来のこと、社会の構成員としての自覚、修養や心の問題、さらに身近なものでは私自身のライフワークがある。

前の二つについては、私見を今ここで述べる状態にはない。そこで私事にわたってささか恐縮なのだが、ここでは最近の私の身近事情について触れさせて頂きたいと思う。

昨年暮れに、東京の叢文社から約700頁の長編歴史小説「瀬戸の軍狼」を出版した。

20数年前から資料集めを始め、内容の要点整理に2年余を費やしたが、やっと全体の流れをつかんだので、これを小説にし、昭和55年から私の所属している年2回発行の同人誌「岡山文芸」に連載することにした。

本来彫刻が専門だった私が、歴史小説を書き始めたのは、決して気紛れでない理由があるのだが、とにかくこの作業が私のライフワークの一つになったことだけは確かである。

私の周辺では「20年以上もかかってこれを書いた動機は？」と、不思議そうに尋ねられる人が少なくない。むろんこんな事が、ただ一つの動機だけで持続する訳はない。

それなりの下地があって、きっかけがあって、共鳴する内容があって、興味が持続できて、達成感を得たいという願望が私を促し続けていたからこそ、そうなったのだと思う。

下地というのは、祖父が残してくれた「吉備郡史」（上・中・下巻）という書物である。この書物の中身に興味を持ったのは、私の住まいの近くにある柏寺遺跡（白鳳期）を調べたいと思ったことで、その資料集めにこの書物が大変参考になった。加えてこの本の中には、郷土の歴史を知るた

めの実に豊富な参考資料や記録があることを見つけたのである。

備中兵乱という戦国時代の記述も、もちろんこの中にあった。しかし今この事件を知る人は少ない。一体この地方で、400年前にどんなことがあったのだろうか、そこに引用されている様々な関係資料は、今後どう伝えなければならぬものだろうか。そんな思いで記録を集めているうちに、中国地方一帯を舞台に、領地拡大や下剋上の野望に生きた戦国武将たちの、謀略と死闘の人間像が生々しく記録されていることに気付いたのである。

中でも、備中の豪族三村氏の悲運は、強く私の心をとらえた。親の仇と同じ陣営には居られないと、心ならずも主家毛利氏を離れ、攻め滅ぼされる運命を知りながら、自らの信念を貫く道を必死に求めた三村元親の心情に、私は黙して通れないものを感じたのである。

私がもし彼であったら、この絶体絶命の状況の中でどう生きるだろうか。

世の多くの者が、心ならずも強者になびき、己の信条を曲げ、利害にとらわれる中に、この三村元親の生き方は、世の潮流に逆らってまでも信念を貫いた一途な愚直さによって、実に鮮烈な印象を私に与えたのだった。

かつて私は、彫刻の師石井鶴三先生が「何のために彫刻を作るかといえば、それは死を潔くすることです」と言われたのを、今も忘れることはできない。それから50年が過ぎた今、不肖の門下生である私も、その言葉を一層強く身近に感じるようになった。

その意味で「瀬戸の軍狼」の三村家親は、時代こそ異なるが私にとって、人生の生き方というこの命題に、厳しく応えてくれた一つの人物像であったような気がするのである。

*** イベント情報 ***

文化センター合唱団 第38回定期演奏会

第1ステージ
混声合唱組曲「富士山」
草野心平 作詞、多田武彦 作曲

第2ステージ
混声合唱によるさだまさし作品集
「北の国から」

第3ステージ
混声合唱組曲「筑後川」
丸山豊 作詞、團伊玖磨 作曲

5月17日(日)午後6時30分開演(無料)

会場：岡山県総合文化センター・ホール

*** お知らせ ***

カバヤ児童文庫・マンガブックの電子提供

平成16年秋の新県立図書館開館時に正式稼働するデジタル岡山山大百科(郷土に関する情報を統合的に検索できる電子検索システム)の一環として、貴重な郷土資料を中心にデジタル化をすすめています。

このたび、本館所蔵のカバヤ児童文庫・マンガブック等について、全てデジタル化を完了し、インターネット上にて公開しましたのでお知らせします。

HPアドレス

<http://www.libnet.pref.okayama.jp/mmhp/demoindex/html>

提供点数 247点

ギャラリー

期間 (週)	第一展示室		第二展示室	
	大 室	小 室	大 室	小 室
5 / 27 6 / 1	岡山日展会秀作展 日本画10点・洋画60点・彫刻5点・工芸美術5点・書90点 <岡山日展会> 500円、中高生200円、小学生 無料(前売400円)			
6 / 3 6 / 8	第69回 東光展岡山会場(巡回展) 油絵・水彩・版画約160点 <社東光会岡山支部> 600円、学生300円、会員200円、中学生以下・65歳以上・身障者 無料			
6 / 10 6 / 15	第34回 桂友会書展 書約200点 <桂友会> 入場無料		第32回 独立書人団岡山支部展 書約150点 <独立書人団岡山支部> 入場無料	菊影(じゅんせい)会写真展 写真 <菊影会> 入場無料
6 / 17 6 / 22	第33回 水墨画・閑谷彫芳石会展 水墨画140点・閑谷彫60点 <芳石会> 入場無料		第24回 木馬会書道展 書70点 <木馬書道会> 入場無料	第26回 泉墨書道会展 書60点 <泉墨書道会> 入場無料
6 / 24 6 / 29	第35回 記念 道文会展 書約200点 <道文会> 入場無料		第29回 抱象会書展 書70点 <抱象会> 入場無料	ふる里彫り同好会作品展 木彫200~250点 <ふる里彫り同好会> 入場無料
7 / 1 7 / 6	新世紀展 岡山会場(巡回展) 洋画約100点 <新世紀美術協会岡山支部> 600円、中高生400円、65歳以上・身障者・会員 無料			
7 / 8 7 / 13	岡山美術研究会 第85回展 油絵50~60点 <岡山美術研究会> 入場無料		第15回 水墨画 萌苑会展 水墨画約300点 <水墨画萌苑会> 入場無料	
7 / 15 7 / 20	第3回 日本画グループ煌(きら)展 日本画80点 <グループ煌> 入場無料	第13回 彩彩会展 日本画約50点 <彩彩会> 入場無料	2003 A. J. A. C. 岡山展(巡回展) 平面70点・立体15点 <A. J. A. C. 岡山> 入場無料	
7 / 22 7 / 27	第37回 岡山写真家集団展 写真120点 <岡山写真家集団> 入場無料		第35回 新美展・第25回 竹馬会展 洋画13点・日本画5点・水墨画75点・写真7点 <新生美術会岡山支部> 入場無料	さわらび会 第10回 墨彩画展 墨彩画50点 <さわらび会> 入場無料
7 / 29 8 / 3	第45回 東中国自由美術展(巡回展) 絵画約55点・立体約6点 <自由美術岡山支部> 入場無料		環展 油絵15点・日本画4点他 <環展> 入場無料	第48回 杏林画会・白青会合同展 油絵30点・日本画5点他 <白青会> 入場無料

ギャラリーの開場時間は通常9時から17時です。
団体の都合により、展覧会名称・入場料等が変更されることもあります。
会員……文化センター友の会及び文化振興会会員

ホール(固定席282席)

日(曜)	催 物	時 間	料 金	主 催 者
6 / 1 (日)	岡山舞台芸術ゼミナール照明講座	9:00~17:00	関係者	岡山舞台芸術ゼミナール実行委員会他
6 / 2 (月)	文化センターホール使用抽選会 (対象期間:15年12月~16年2月)	9:00~		岡山県総合文化センター 総務課文化係
6 / 6 (金) 6 / 8 (日)	(第335回文化センター土曜劇場) 岡山県高等学校演劇協議会公演	6日 14:05~ 7日 9:00~ 8日 9:00~	無 料	岡山県総合文化センター
6 / 14 (土)	マスカット・パピルス ジョイントライブ	13:00~17:00	500円	ノートルダム清心女子大学軽音楽部パピルス
6 / 15 (日)	ピアノ発表会	未 定	無 料	石 井 洋 子
6 / 18 (水)	演劇公演	未 定	3,000円	劇 団 は ぐ る ま 座
6 / 21 (土)	理科大学RJB・就実大学おもちゃ箱 Joint Live	13:00~16:00	500円	理科大学RJB・就実大学おもちゃ箱
6 / 22 (日)	岡山舞台芸術ゼミナール照明講座	9:00~17:00	関係者	岡山舞台芸術ゼミナール実行委員会他
6 / 28 (土)	岡山大学軽音ロック・鹿田ジョイントライブ	未 定	未 定	岡山大学軽音ロック・鹿田
7 / 13 (日)	アルゼンチンタンゴ カナリオス	未 定	2,500円	岡山アルゼンチン友好サロン会議
7 / 19 (土)	ピアノコンサート	13:00~	無 料	Little Piano Concert
7 / 20 (日)	ピアノ発表会	10:00~16:30	無 料	セルヴェ・アミーケ
7 / 23 (水)	ピアノ発表会	10:00~16:00	無 料	みのり音楽園
7 / 26 (土) ・27 (日)	(第336回文化センター土曜劇場) 劇団 SOFT GEAR 公演	26日 14:00~15:40 18:00~20:30 27日 11:00~12:40 14:00~15:40	前1,000円 当1,500円 会員・65歳以上・ 身体障害者 無料	岡山県総合文化センター

ホールは、楽屋25㎡・舞台96.40㎡・客席196.98㎡・固定席282席です。
使用希望者は、3ヶ月ごとの抽選会に出席してください。
平成15年度のホール抽選会は、6/2(12~2月)・9/1(3月)ですが、抽選済の期間で空きがあれば随時受け付けています。
使用目的は、ピアノ発表会・バンド演奏会・演劇公演等、営利目的以外の芸術文化関係の催しに限ります。
上記の催し物は、4月末現在申し込み済みのものです。
主催団体の都合で、中止・変更等の場合もありますので、事前に御確認願います。

催し物案内と文化センターニュースはホームページでもご覧になれます。(http://www.libnet.pref.okayama.jp)